

会 計	款	12	公 債 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	公 債 費	30 財 政 課	8533 長期借入金元金償還金
	目	1	元 金		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,226,092	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	1,226,092
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,226,092	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,226,092

事業概要	<p>これまでに借り入れた市債の元金を償還（返済）する。 《市債》 投資的事業（代表例は学校建設や道路整備等）などを行う際に、単年度では財源確保が難しいことや住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するために借り入れる市の長期借入金。</p>
事業目的	<p>過去に借り入れた市債の元金を償還する。</p>
現状、背景	<p>過去の投資事業に係る償還のピークを超えたことや、補償金免除による繰上償還が終了したことで、市債の元利償還額は平成 29 年度をピークに減少していく見込み。</p>
その他	

会 計	款	12	公 債 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	公 債 費	30 財 政 課	8535 長期借入金利子償還金
	目	2	利 子		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		61,981	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	61,981
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	61,981	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	61,981

事業概要	市債とは、投資的事業（代表例は学校建設や道路整備等）などを行う際に、単年度では財源確保が難しいことや住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するために借り入れる市の長期借入金のことで、これまでに借り入れた市債の利子を償還（返済）する。
事業目的	過去に借り入れた市債の利子を償還する。
現状、背景	過去の投資事業に係る償還のピークを超えたことや、補償金免除による繰上償還が終了したことで、市債の元利償還額は平成 29 年度をピークに減少していく見込み。
その他	

会 計	款	12	公 債 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	公 債 費	30 財 政 課	9350 一時借入金利子償還金(財政課)
	目	2	利 子		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	3,000
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	3,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	3,000

事業概要	<p>一時借入金とは、支払資金が一時的に不足した場合に借り入れる運転資金のことで、この借入金の借入と償還は、長期借入金と異なり単年度を条件に予算に計上せずに行えるが、その限度額は予算で定め、借り入れに伴い発生する利子の支払いは、公債費として予算計上する。</p>
事業目的	<p>運転資金である一時借入金の一定期間の借入によって生じた利子を支払う。</p>
現状、背景	<p>出納室と連携して、日々の資金収支状況を精査し、利子の削減に努めている。</p>
その他	

会 計	款	12	公 債 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	公 債 費	1 出 納 室	9985 一時借入金利子償還金(出納室)
	目	2	利 子		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	1,000
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,000

事業概要	<p>一時借入金とは、支払資金が一時的に不足した場合に借り入れる運転資金のことで、この借入金の借入と償還は、長期借入金と異なる単年度を条件に予算計上せずに行えるが、借入によって生じる利子については純粋な支出であり予算計上して支払うこととなる。</p>
事業目的	<p>運転資金である一時借入金の一定期間の借入によって生じた利子を支払う。</p>
現状、背景	
その他	